



一般社団法人A-GOAL

TAKESHI SEO & JAPAN presents KIBERA A-GOAL リーグ 2024年 2nd レグ 報告書



はじめに

日頃より、キベラA-GOALリーグをご支援いただき誠にありがとうございます。

2024年9月7日から12月9日に実施した「TAKESHI SEO & Japan presents キベラA-GOALリーグ 2024 2ndレグ」では、1600名以上の子どもたちにサッカーや食事の提供を通して、非行やドラッグに走ることなく健全に成長する機会を提供することができました。

また、12月にはリーグの選抜チーム（13歳以下）でタンザニア遠征を実施し、東アフリカ最大級のサッカー大会「Chipkizi Cup」に出場しました。これまでケニアやナイロビを出たことがない子どもたちにとって世界が広がる大きな経験になりました。

皆様のご協力に心より御礼申し上げます。

一般社団法人 A-GOAL 代表 岸 卓巨

A-GOALの理念

スポーツを通じて日本とアフリカを繋ぎ、持続可能な社会を築く

発足のきっかけ

きっかけは2020年にケニアから届いた1通のメールでした。

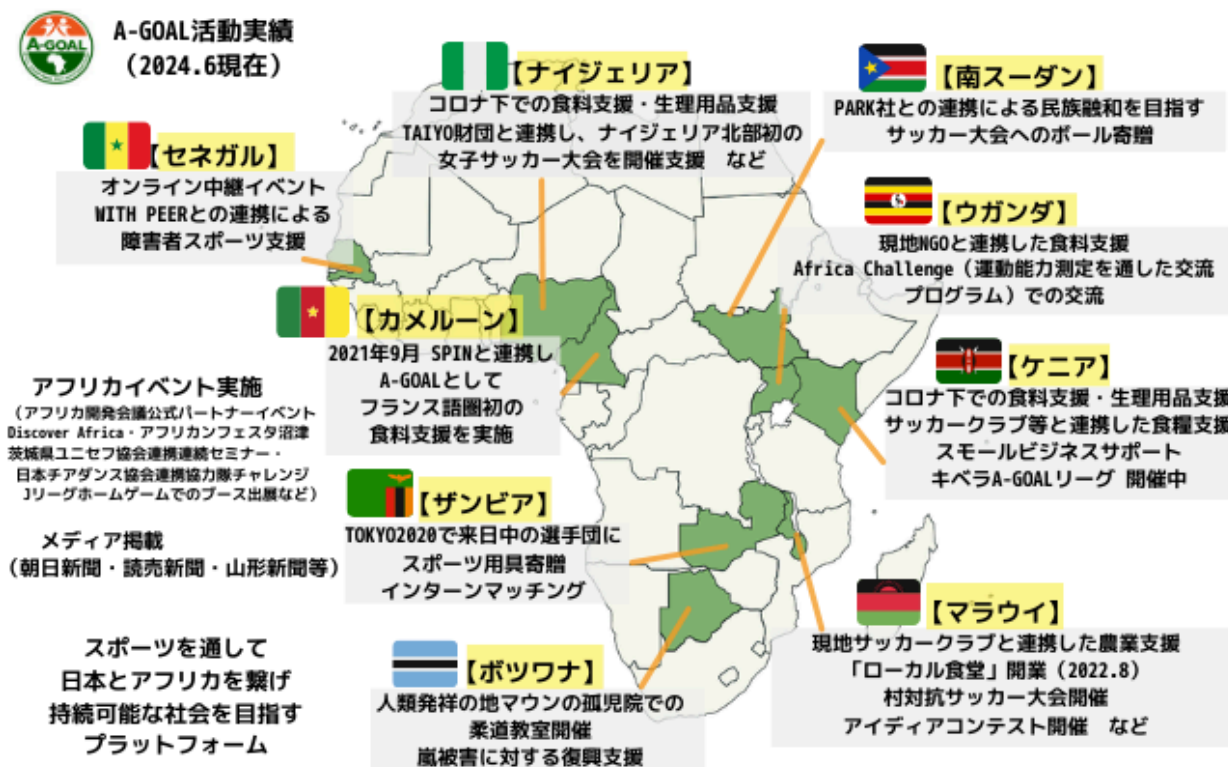
「感染症(コロナ)では死なないと思うけど、
飢餓で死ぬかもしれない。」

発起人の岸（元JICAケニア協力隊）はSOSを聞いて1つのアイデアを思いつきます。

「スポーツクラブというネットワークを使って、食糧支援をしてはどうか？」

2021年9月までに、アフリカ7カ国で各国のスポーツクラブと連携し、12,997人に食料やマスク、石鹸などを配布。

現在はスポーツの力を活用して、アフリカの様々な地域に活動しています。



開催地 キベラスラムとは

キベラスラムはケニアの首都ナイロビ中心部のすぐ側に位置する、皇居2つ分の地域に100万人以上が住むといわれるアフリカ最大のスラムです。

生活は貧しく、6畳一間のバラックに10人が住んでいるという家族も珍しくありません。衛生環境も劣悪です。子どもたちが自由に遊べるグラウンドはありません。



キベラA-GOALリーグの目的

子ども達の未来を守る サッカーリーグ

キベラスラムの子ども達

学校に行けない子が多く、暇な時間ができてしまう。
その時間で薬物や犯罪に手を染めてしまう子が多い。
その影響で望まない妊娠をしてしまう子も少なくない。



空いた時間を埋める

ドラッグや犯罪防止

安心で安全な場所の提供
食事・衛生・保健教育

将来の選択肢の拡大



希望と自信を持たせ、
明るい未来をサポート！

プロジェクト発起人の2人



キベラスラムには学校に行けず、一日何も食べるものがない子どもたちが多くいます。

空腹と暇な時間が原因で、ドラッグや犯罪に手を染めてしまうケースが後を絶ちません。

週末にサッカーリーグと食事提供を実施することで、我々は子ども達が健やかに成長する環境を作ります。

キベラA-GOALリーグの目的

社会問題を解決するサッカーリーグ

継続的にサッカーリーグを開催し、様々な問題解決へ挑戦していきます。

教育



- ・市外、国外との交流（遠征等）
- ・奨学金システムの導入

健康



- ・継続的な食事、生理用品の提供
- ・健康の授業、プログラム実施

雇用



- ・リーグで雇用を生み出す
- ・職業体験の実施

リーグの運営体制

アガペ・ホープ・フォー・キベラ



食料配布



現地運営

プロジェクト発起人の2人



Ken



Collins



A-GOAL



資金調達



マネジメント

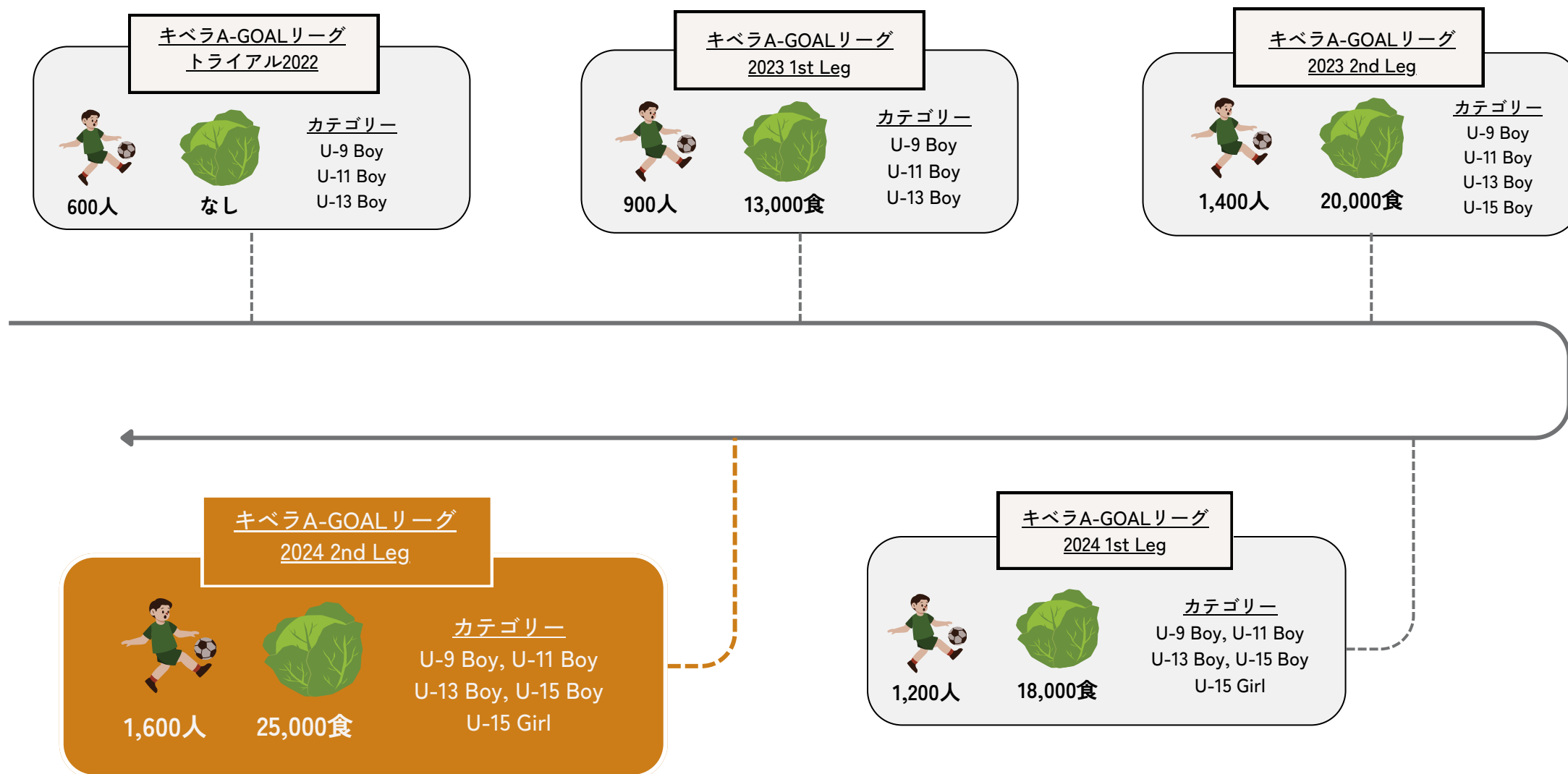


A-GOALは現地NGO（アガペ・ホープ・フォー・キベラ）と協力し、リーグを運営しています。

リーグを支える人々



リーグ推移と成果（2022-2024年）



2024 A-GOAL リーグ2ndレグ報告



参加人数：1,625人



総試合数：1,405試合



参加クラブ数：42クラブ
(112チーム)



食事提供数：24,435食

2024 A-GOALリーグ2ndレグ費用



リーグ運営費

(ボール、グラウンド使用料、賞品、応急処置セット、生理用品、人件費など)

718,500円

食事提供費

(コメ、とうもろこしの粉、緑豆、キャベツ、トマト、玉ねぎ、人件費など)

461,000円

その他費用

79,300円

合計 (半期)

1,258,800円

1ケニアシリング=1.22円 (2025年1月3日)



2024 A-GOAL リーグ2ndレグ成果

ストリートチルドレン チームの参加



ストリートチルドレンチーム
“ワナブジョ”が参加。コーチが
カウンセリングし、3人のストリ
ートチルドレンが家族のもとに
帰る。

A-GOAL リーグの プレゼンス向上



- 子どもの成績が向上し、親、
学校からの評価がアップ
- ケニアフットボール連盟から
ジュニアリーグとして正式に
認定される。

奨学金獲得



キベラA-GOALリーグでのパフ
ォーマンスが評価され、新たに
4人が奨学金を獲得。2025年から
特待生として高校に進学する。

2024 A-GOAL リーグ2ndレグ成果

草場選手がリーグ アンバサダーに就任



ケニア1部リーグでアジア人初のプロサッカー選手である草場勇斗選手がリーグのアンバサダーに就任。今後、リーグに参加する子どもたちへのロールモデルとして、さまざまな取り組みをA-GOALと連携して行う予定。

日本からの リーグ見学者の増加



リーグの取組みに興味を持ってくださった多くの日本人の方に会場までお越しいただきました。今後はリーグを通じてケニアと日本の架け橋の存在となれるよう、見学者向けのツアー等も開催する予定です。

アンケート調査から見てきた事

2024 年10月5日,6日の2日間に渡り、リーグに参加しているチームの男選選手、女子選手、コーチを対象にアンケート調査を実施。回答者の総数は61人（内訳：男子：34、女子：14、コーチ：13）。

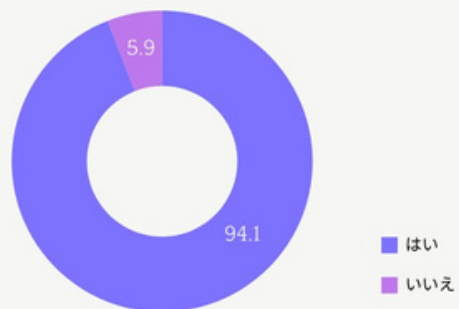


回答者のほとんどはキベラスラムから参加している。彼らが住んでいるエリアは上記画像の通り。

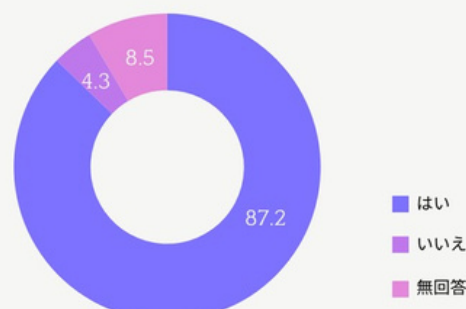
リーグはHarlequins ground（図1赤の☆マークで表示）で、食事提供はAgape Hope for Kibera（黄色の☆マークで表示）にて実施されている。試合会場には参加者のほとんどが徒歩で集合する。そのため年齢・居住エリアによっては会場まで1時間以上かけて歩いて来る参加者もいる。試合が終わったチームから徒歩20分ほどでAgape Hope for Kibera に移動している。

アンケート結果（選手）

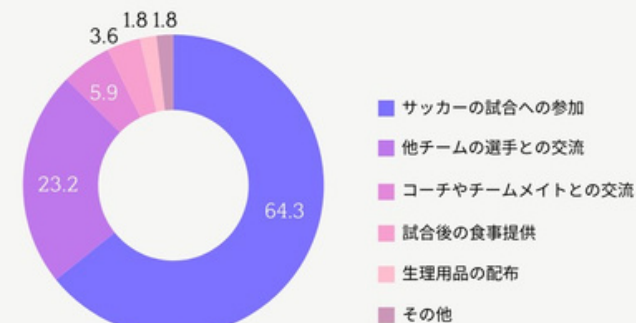
リーグ参加後に生活に変化がありましたか。



リーグ参加前と比べて毎日より充実していると感じますか。



キベラA-GOALリーグについて好きなことは何ですか。



リーグ参加後の具体的な変化

- | |
|---|
| ① 怠けることを辞めた/自分自身を制御できるようになった |
| ② 悪い性格や悪いグループから離れた/悪い人たちと過ごす時間がなくなった |
| ③ 自分の才能に誇りを持てるようになった/自分自身により自信を持つようになった |
| ④ シュート・パス・ドリブル・ボールのコントロールの仕方を知った |
| ⑤ 他の選手と交流し、新しい友達ができた |
| ⑥ コミュニケーションを取ることを学んだ |
| ⑦ チームワークが向上した |

アンケート結果（コーチ）

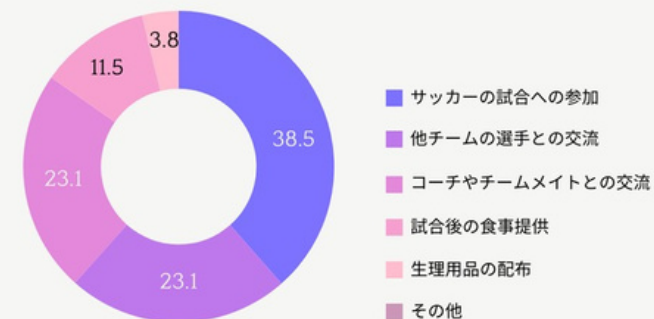
リーグ参加後にあなたの/あなたのチームの選手たちの生活に変化がありましたか。



リーグは子どもたちにポジティブな影響を与えていると思いますか。



キベラA-GOALリーグについて好きなことは何ですか。



リーグ参加後の具体的な変化

- ① 自身が経験を積むこと、試合や人生についてほかのコーチ達からアドバイスをもらうことができた
- ② 自身が区画を越えてさまざまな人々と交流を持つことができた
- ③ 子どもたちのプレーレベルが向上した
- ④ 子どもたちが人との関わり方を知り、友人を作ることができた
- ⑤ 子どもたちに規律面での成長（時間管理等）が見られた
- ⑥ 子どもたちが試合後に食事を取ることができる
- ⑦ 子どもたちのスキルアップにプラスの影響があった
- ⑧ 子どもたちの自信が向上した
- ⑨ チームワークが向上した

リーグが子どもたちに与えたポジティブな影響

- ① 子どもたちを忙しくさせ、子どもたちがスラムでの暴力やドラッグに巻き込まれないようにするのに役立っている
- ② 他の子どもたちと関わり、新しい友達を作ることができた
- ③ 多様性を学んだ
- ④ スポーツマンシップを身に付けた
- ⑤ 選手が自分の所属を知るのを助ける
- ⑥ A-GOAL は選手たちにチームワークの大切さを教えてくれた
- ⑦ 彼らがプロフェッショナルになるための道筋をつけることを助けた

現場の声



ヤング・オブウォタ（コーチ）

「子どもたちはA-GOALリーグに参加するようになり、規律や意思決定という面でとても成長しました。今では将来何がしたいのか、はっきりと口にします」

ケン・ラシッド（A-GOALリーグオーガナイザー）

「A-GOALリーグは子どもたちのためだけでなく、コミュニティのためでもあります。火災や洪水が起きたときは、被災した人たちに食糧やマットレスなどを届けることができました。皆、A-GOALリーグに感謝しています」



デニス・シベンジェ君（アストンローマFC）

「A-GOALリーグに参加して、プロサッカー選手になるという夢がはじまりました。2024年のリーグ戦での活躍で奨学金をもらえることになり、家族にとって大きな助けになっています」

現場の声



ストリートチルドレンで構成された「Wanabujo」がリーグに出場するようになり、ストリートチルドレンに対するコミュニティ内での印象が”悪い子どもたち”から”スポーツに取り組む子どもたち”というイメージに変わりました

A-GOALが生理用ナプキンを提供してくれたおかげで、娘が生理中も学校に通えるようになりました

A-GOALリーグに参加した子どもたちは学校でも態度が良く、教師たちからも感謝されています

A-GOALは子どもたちだけでなく、地域全体の意識と生活を向上させる活動を行っており、住民たちもその影響を感じています

リーグの様子



リーグの様子



表彰式の様子



食事提供の様子



選抜チーム／タンザニア遠征

A-GOALリーグ選抜チーム（U-13）がチプキジカップに参加

- 子ども25人、コーチ、スタッフ8人が参加
- 2勝1敗で予選リーグを突破。決勝トーナメント1回戦でPK戦の末、敗北
- アルーシャの文化センターに社会見学



報告動画



チプキジカップ

タンザニアで開催される東アフリカ
最大級のユースサッカー大会。
347チーム、4,800人が参加する。



ケン・ラシッド

「ケニアどころかナイロビからも出たことがないキベラの子どもたちが、サッカーを通じて他国の子どもたちとの交流し、大きく成長しました。タンザニアにいくと聞いて涙を流して喜んだ親もいました」

「アルーシャに行けると聞いて、ウキウキして夜も眠れませんでした。実際、タンザニアに行ってみるとケニアの文化とは大きく違うことがわかりました。また違う国の素晴らしい選手たちを見て、学ぶことも多かったです」



アルビンくん
(マレンFC)



参加したコーチや保護者の声



タンザニア遠征の前に行われた保護者会では、子どもたちがタンザニアに行くことを信じられないと涙を流す親もいました

タンザニア遠征はコーチや子どもたちにとって一生の思い出となりました。彼らは初めてケニア国外に出て、異なる文化や生活を知ることができました

子どもたちは、キベラを代表するチームとしての誇りを持って大会に出場しました。A-GOALはスラムから出場した唯一の代表チームでした

タンザニア遠征はコーチや子どもたちにとって一生の思い出となりました。彼らは初めてケニア国外に出て、異なる文化や生活を知ることができました

チプキジカップの様子



今後の展望

継続的な リーグの開催

- ・ 現地CBOの設立
- ・ 現地オーガナイザー日本来日
- ・ スポンサータイアップのカップ戦開催

リーグの開催効果 の向上

- ・ コミュニティへの貢献（清掃、衛生など）
- ・ リーグでの雇用創出
- ・ 高校生年代のチーム結成
- ・ ケニア各地にリーグ展開

持続的なリーグの 発展

- ・ プロ選手誕生
- ・ 雇用創生、奨学金制度
- ・ 全国大会の実施
- ・ 参加者10,000人

2025年

2026年

2028年

2024リーグパートナーの皆さま



ネーミングライツ：瀬尾 武司 様



キッコーマン株式会社 様



サラヤ株式会社 様



丸山製茶株式会社 様



株式会社 平八 様



株式会社尹久文化 様



株式会社クロストレード 様

個人マンスリーサポーター（マジナジュア）

マジナジュアはキベラリーグ専門のマンスリーサポーターの名称です。

継続寄付 #アフリカ #社会にいいこと #子ども・教育 #国際協力 #スポーツ #発展途上国 #貧困 #サッカー #ケニア #継続寄付
スラムの子どもにもサッカー選手になる夢を！マンスリーサポーター募集

一般社団法人 A-GOAL

スラムの子どもにもサッカー選手になる夢を！
マンスリーサポーター大募集

キベラA-GOALリーグを支えるマンスリーサポーター、
マジナジュアの一人になりませんか？

マジナジュア・・・
スワヒリ語で「水と太陽」の意味。
キベラスラムの子どもの成長を
サポーターの皆さんと支えたいという想いから
このサポーターネームになりました。

目標人数
30名

期間：10/21（月）～11/30（日）

A-GOAL

マンスリーサポーター
32人 目標人数 30人

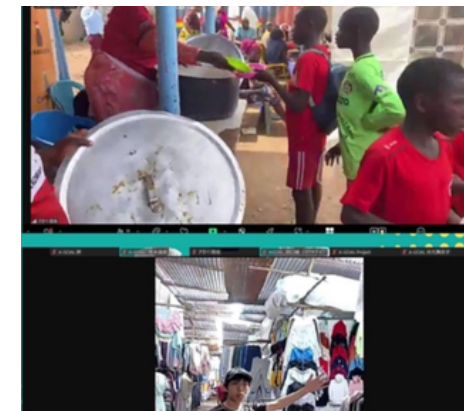
募集終了日
2024年11月30日

♡ 4

<https://readyfor.jp/projects/...>

コピー

専用URLを使うと、あなたのシェアによってこのプロジェクトに何人参加しているかを確認できます



イベント時の様子

2024年10月～11月にかけて、マンスリーサポーターの募集を実施しました。
新たに32人の方にご登録いただきました。
マジナジュアに登録いただいた方にはフォトブックの送付などの特典もございます。
ご興味のある方はぜひご登録を検討いただけますと幸いです。



登録ページはこちら

朝日新聞社運営メディアにA-GOALに関する記事掲載



10月に現地取材をいただき、
リーグに関する記事を掲載いただきました。

<https://www.asahi.com/withplanet/article/15566902>



記事はQRコードから
ご覧ください

朝日新聞一面（夕刊）にA-GOALに関する記事掲載

1 4版 2025年(令和7年)1月27日(月) 朝日新聞 49772号(1頁刊)

朝日新聞

2025年(令和7年)
1月27日
月曜日 夕刊

購読・回線
NEWS+α 4
内・外 5
社会・総合 6
社会 7
TV・ラジオ 5.8

朝日新聞東京本社
〒100-8701 東京都千代田区千代田 1-2-2
電話(03) 5561-4111 www.asahi.com

1月27日
月曜日 夕刊

好書好日
https://book.asahi.com

見つける on & off
英語で未就学児を保育する
プリスクール。独自に開
発したカリキュラムで、国
内外で31校を展開する施設
がいます。

「夢は世界最高の選手」
ケニアで子どもリーグ「夢は世界最高の選手」

スラムサッカーに託す希望

ケニアの首都ナイロビにあるスラム街「ケベラ」で、子どもたちがサッカーを熱中する様子。A-GOALの活動を通じて、子どもたちの夢を応援している。

日本の団体が運営
リグを運営するのは、一般社団法人「A-GOAL」だ。代表の藤田さん(38)は2011年から3年間、青年海外協力隊としてケニアに滞在し、2019年、新型コロナウイルスで苦しいケニアの知人からの支援要請を受け、緊急プロジェクトを立ち上げた。

一方、ケニアでは、元プロサッカー選手のケネス・アモロさん(38)や、コリス・ワシントンさん(39)らが、子どもたちのためのサッカーリーグの立ち上げを模索していた。だが、アフリカ在住の知り合い、クラウドファンディングを立ち上げた。188万円で集まった。複数のスポンサー企業も賛同し、23年3月、「ケベラA-GOAL」が本格にスタートした。

昨年は12月に開かれた24年の後期リーグでは、9歳以下(U9)から15歳以下(U15)まで五つのカテゴリーに分かれ、112チーム1629人の子どもたちが参加した。子どもたちは赤いグラウンドでボールを追ひ、得点を決める喜びや、試合に敗れる悔しさを仲間たちと分かち合った。

「A-GOAL」関係者は「ケベラのサッカー関係者は、だのサッカー大会では、レベルも高く、食料や支援金も豊富。競争も激しい」と胸を張る。参加する子どもたちは多くは、プロのサッカー選手になる夢を持ち、練習の場から抜け出さず、努力している。

「(14)は「昨年、リオ選手がスカウトの目に当たった。年別のケニア代表に選ばれた。生活は苦しく、スラムにある家に家族で暮らしている。母親のマネージャー、シヨウワさん(38)は「タスク・選手の手伝いは、収入もある。息子にサッカー選手になって、私たちの生活を支えてほしい」とアモロさんは希望を語る。

非行を防ぐ目的も
貧しく、働き口も限られていたスラムでは、若者は窃盗や違法薬物、望まない妊娠など多くの問題に巻き込まれる。サッカーリーグには、子どもたちを健康的に忙しなく、非行や犯罪に手を染めることを防ぐ目的がある。試合を終え、帰路につく子どもたちは、毎日1日走り回り、おなかを減らさず、家に帰ったらすぐ寝てしまうという。それがA-GOALが目指す「子どもたちを育てる」ということだ。子どもたちが生まれ育ったケベラの手を離れ、立派な人間になれという願いを込めていきたい」とアモロさんは希望を語る。

赤茶色のトタン屋根が見え限り続くケベラスラムの街並み。「チョコレートシティ」と呼ばれるゆえんだといずれも2024年10月、ケニア・ナイロビ、開田航撮影

天気
東京 9 12
横浜 9 12
千葉 9 12
大阪 9 12
名古屋 9 12
福岡 9 12
札幌 9 12
仙台 9 12
新潟 9 12
東京 9 12
横浜 9 12
千葉 9 12
大阪 9 12
名古屋 9 12
福岡 9 12
札幌 9 12
仙台 9 12
新潟 9 12

日本との繋がり



ワークショップ実施（現地中継含む）



イベント出展

その他・2025.01.14

アフリカ寄付プロジェクト2024

倉庫移転・旧型軽量球アフリカ寄付プロジェクト
プロジェクト担当：児島 林平



他団体と連携したサッカーボール寄贈



交流イベント・報告会開催



Africa Challenge
（運動能力測定を通じた交流）



登壇・活動紹介

さいごに

リーグの価値をさらに向上するためには、
より多くの皆様との連携が必要となります。
A-GOALはパートナー企業との連携を拡大し、
継続的に貧しい環境の子供たちを応援して参ります。
引き続きの応援とご協力の程、どうぞ宜しくお願い致します。



ケンによるリーグ紹介動画



リーグの様子動画 32